

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年6月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年6月7日～29日
- 調査対象 200社
- 回答企業 110社
- 回収率 55.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の6月の状況を見ると業況DIは、前月より2.0ポイント悪化の▲23.9となった。

2017年9月以来10ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲18.2、当月に比べ5.7ポイントの改善を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2018年7月～9月
業況	▲11.3	▲20.0	▲15.2	▲24.1	▲21.9	▲23.9	▲18.2
売上	2.8	▲2.8	4.7	▲18.7	▲14.9	▲18.2	▲14.6
採算	▲17.8	▲20.0	▲12.4	▲22.4	▲21.9	▲21.8	▲15.5
仕入単価	▲41.1	▲41.8	▲41.9	▲33.0	▲39.4	▲36.4	▲34.6
従業員	30.8	22.7	29.5	32.1	31.9	32.7	33.7
資金繰り	▲5.6	▲10.9	▲11.4	▲8.0	▲6.2	▲4.5	▲5.4

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2018年7月～9月
建設	▲3.7	▲22.2	▲11.1	▲19.3	▲16.0	▲18.5	▲18.5
製造	▲7.4	▲21.8	▲16.0	▲29.2	▲27.6	▲37.5	▲32.0
卸売	▲19.0	▲20.0	▲22.7	▲23.8	▲28.6	▲30.0	▲15.0
小売	▲33.3	▲31.3	▲13.3	▲23.5	▲29.4	▲33.3	▲16.6
サービス	0.0	▲5.3	▲12.5	▲25.0	▲9.1	0.0	▲5.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・工事発注量の不足による工事受注量の減少。建設資材（特に鋼材）の高騰による利益の圧迫。下請業者不足による施工単価の高騰。燃料の高騰による下請施工単価の高騰（重機・ダンプ等）（総合工事） ・工事量は順調に推移している状況ではあるが、今後、最盛期に向かい人員不足が懸念材料(設備・その他) ・専門性のある工事業界であるが、工事量の減少と人不足をかかえ、今後の見通しは非常に暗い。座して待つか、時代に併せて打って出るか、各社の迷いが多くある。（設備その他） ・仕入れ価格は上昇傾向にあるが現在は売価に転化可能な状態、今後も継続できるかが課題。従業員不足状態は改善できていない。（設備その他） ・春先の仕事が終わつつ、次の仕事の準備期間、早めに着工して欲しい。仕入単価が一段と上昇、今後が心配。（建築） ・完成工事高は、例年並みを確保し、大きな変動はないものの、地方現場の増加により採算性の低下が懸念される状況にある。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・社内仕事シェアリングによる人件費の抑制効果が少しずつ顕在化。（食料品） ・旭川本社が売上減っている中、札幌支店が売上を伸ばしている。本社分のカバー以上に札幌支店で頑張っているのので、やはり街の規模で仕事の量が違うのでしょうか。価格は相変わらず厳しいですが、原価計算をしっかりやって利益を出すようにしています。（印刷・出版） ・売上高は前年度実績維持の状態に有るも、原材料の価格上昇と価格交渉もあって収益面圧縮傾向にある（家具木材） ・前月同様、新築物件の減少（家具木材） ・生産性の向上（製造運転連動体制の効率化・5S）を実践している。間違いなく収益が上がっている。春先は売上微増であった。（金属鉄工窯） ・購入資材の値上がりが続いている。受注は例年通りのパターンで低下。（金属鉄工窯）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業単価が年々低下しているので、効率化を進めても追いつかない（機械鋼材） ・前年度より若干良いもののほぼ同等の業況といえる。（機械鋼材） ・6月上旬に仕入価格の上昇に伴い、販売価格も上昇（灯油）（その他） ・売上・粗利とも前年比90%台で推移している。今期目標に対しては売上・粗利とも達成できそう。今後もあまり変化は見られない。人手不足（募集しても応募者なし）（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的（卸・小売）に売上、買上客数、買上客単価に関して上昇傾向です。小売は西武閉店に伴い一時流出傾向だったお客様が多少戻ってきている気がします。卸に関しては旭川に滞在する観光客が増えたためか発注が昨年より多くなっている。（衣料品） ・5月同様、天候が不安定。気温が低いと来店客が少なく、気温が上昇し暑いと夏物商品の半袖Tシャツ、ショーツ、レザースandalの動きが良くなり、売上にプラスになります。買い上げのお客様は顧客中心です。（衣料品） ・店舗リニューアルにおける設備負担（食料品） ・仕入価格の上昇により、消費者の節約志向が出始めている。連休後半の天候があまり良くなく前年と比較すると洗車作業が減少した。（その他） ・従業員不足が続いております。（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・上川管内は売上約10%減少、札幌、トマム、岩見沢、ニセコ地区増加。全体で5%増加。7月・8月・9月は観光客が大幅に伸びる予想。当社はホテルのリネンの洗濯業を60%やっています。その他は病院、一般の洗濯です。（理美容クリーニング） ・業界全体で人手不足が深刻だが、同業他社と比較した際の優位性が無ければ、新卒者の雇用は難しい。（その他） ・観光客が多く来店される。特に外国人が増えている。（飲食） ・原油価格が高値（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI1.6 ポイント悪化、採算 DI2.5 ポイント悪化、仕入単価 DI3.6 ポイント改善、資金 DI3.4 ポイント改善、従業員 DI3.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 2.5 ポイント悪化となった。業種別では、設備・その他、建築横ばい、総合工事 8 ポイント悪化となった。完成工事高は例年並みを確保し、大きな変動はないものの地方現場の増加により採算性の低下が懸念される状況にあるとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI14.7 ポイント悪化、採算 DI2.0 ポイント改善、仕入単価 DI3.1 ポイント悪化、資金 DI6.3 ポイント回復、従業員 DI1.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 9.9 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 20 ポイント改善、印刷・出版 21 ポイント、家具・木材 3 ポイント、金属窯業他 19 ポイント悪化となった。旭川本社が売上減少している中、札幌支店が売上を伸ばしている。価格は相変わらず厳しいですが、原価計算をしっかりとって利益出すようにしているとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI0.9 ポイント悪化、採算 DI3.6 ポイント改善、仕入単価 DI1.5 ポイント悪化、資金 DI4.3 ポイント改善、従業員 DI3.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 1.4 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 3 ポイント改善、繊維・衣服等、その他で横ばい、食料品 13 ポイント悪化となった。6 月上旬に仕入価格の上昇に伴い、販売価格も上昇(灯油)との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI6.6 ポイント改善、採算 DI4.6 ポイント悪化、仕入単価 DI12.4 ポイント改善、資金 DI4.9 ポイント悪化、従業員 DI は 7.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.9 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 8 ポイント、食料品 33 ポイント、その他 3 ポイント改善、自動車 53 ポイント悪化となった。全般的（卸・小売）に売上、買上客数、買上客単価に関して上昇傾向です。小売は西武閉店に伴い一時流出傾向だったお客様が多少戻ってきている気がします。卸に関しては旭川に滞在する観光客が増えたためか発注が昨年より多くなっているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI0.9 ポイント改善、採算 DI0.5 ポイント悪化、仕入単価 DI5.5 ポイント改善、資金 DI5.0 ポイント悪化、従業員 DI3.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 9.1 ポイント改善となった。業種別では、ホテル・旅館 13 ポイント悪化、飲食、整備業、運送横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、その他 17 ポイント改善となった。上川管内は売上約 10%減少、札幌、トマム、岩見沢、ニセコ地区増加。全体で 5%増加。7 月、8 月、9 月は観光客が大幅に伸びると予想との声も寄せられている。</p>